

阪南 2 区におけるアマモの生育状況を確認しました

- 日 時 令和3年6月24日（木）12:15～13:30
- 場 所 阪南2区（ちきりアイランド）南側人工干潟（大阪府岸和田市）
- 主 催 CIFER・コア、大阪海さくら
- 協 力 （公財）大阪府都市整備推進センター
- 参加者数 6名（大阪海さくら 那須睦美様、東洋建設(株) 藤原敏晴様、中村智子様（アマモ苗提供者）
CIFER・コア 横山、藍、大井）



4月29日にCIFER・コアと大阪海さくらで実施したアマモ苗の移植から2か月が経ち、その生育状況を確認するため、6月24日に再び阪南2区（ちきりアイランド）を訪れました。

当日は天気も良く、快適な観察日和で、アマモを植えた場所に見当を付けて探しました。最初はなかなか見つからなかったのですが、付近一面の水面上にアオサが繁茂しているため、アオサを除去しながら観察すると、3か所でアマモの生育が確認できました。これもアマモを育てた大阪海さくらの皆さんの一途な思いの賜物であると思います。

次回のアマモ移植では、アオサの生育場所を避けて植えるなど、移植の場所については検討が必要となりそうです。干潟の背後には、十数カ所で可憐な浜屋顔が見られました。



▲アマモが根付いていることが確認された



▲背後の護岸側は見事な葦原になっている



▲アオサの繁茂の状況



▲砂地の浜屋顔